

シンポジウム開催報告

明治大学は、2011年12月2日、駿河台キャンパス・リバティホールにて、明治大学公開シンポジウム『植物工場 -都会でも新鮮で安心な野菜を作る-』を開催致しました。明治大学各キャンパスの学生や、企業の方々、一般の方、メディア等、総勢150名の参加者がありました。今年春に開所した明治大学植物工場基盤技術研究センターのお披露目を兼ね、非常に意義のあるシンポジウムとなりました。

ご来場して下さった皆様、講演して下さった先生方、関係者の皆様、本当にありがとうございました。



13:30～16:30 駿河台キャンパス リバティホール

納谷 廣美 学長挨拶 (明治大学学長、研究・知財戦略機構長)

基調講演

北野 大 (明治大学理工学部教授)

「安心・安全な食糧生産とは-植物工場への期待-」

古在 豊樹 (千葉大学元学長、NPO 植物工場研究会理事長)

「人工光植物工場の現状と将来性」

伊藤 彰 (日本サブウェイ株式会社代表取締役社長)

「都会型店舗植物工場への期待」

竹迫 紘 (明治大学植物工場基盤技術研究センター長・明治大学農学部教授)

「-明治大学の新たな「農・商・工」連携研究組織-植物工場の未来に向けて」

坂本 恒夫 副学長挨拶 (明治大学副学長、研究・知財戦略副機構長、経営学部教授)



納谷学長の挨拶

未来に向けての熱い言葉がありました。



北野大先生の基調講演

笑いを取り混ぜながら、分かりやすく現代日本の食料事情について説明してくださいました。



古在豊樹先生の基調講演

人工光型植物工場の利点やコスト面について、様々なデータを元に解説してくださいました。



伊藤彰様の基調講演

植物工場技術を用いたビジネス戦略について、自社サブウェイの成長を例に可能性を説いてくださいました。



竹迫弘先生の講演

明治大学の植物工場が建設されるまでの経緯や想いなど、センター長としてのお言葉を頂きました。



坂本恒夫副学長の挨拶

今後の発展を期待しての閉会の挨拶をして下さいました。

当日は、リバティタワー玄関ホールに、植物水耕栽培システムのディスプレイも行い、キャンパスの学生等、多くの方々が興味を示し、足を止めて眺めていきました。



また来年も、このような機会を設けられる事を祈っております。
どうぞ、よろしくお願い致します。